

## 1 活動名

- (1) 農林水産省研修「これからの農業と松くい虫対策について」
- (2) 恵庭市えこりん村「食・農業・環境への取組みについて」
- (3) 富良野市「子育てママと農家を繋ぐ取組みについて」
- (4) 旭川市「イオンモール旭川駅前店」出店にともなう市の対応と「市役所新庁舎整備」に向けた取組みについて

## 2 調査の目的

- (1) 本市における課題  
農業従事者の減少や高齢化、松くい虫対策、食に対する考え方、農業労働者の高齢化及びイオンモールの開店に伴う周辺商店街への影響等について
- (2) 調査の必要性  
上記課題への対応のため
- (3) 調査項目
  - (ア) 農林水産省 国の農業政策に対する本市の取組みと今後の方向性
  - (イ) 恵庭市 食・農業・環境への取組み
  - (ウ) 富良野市 農作業従事者の減少と高齢化に対する考え方
  - (エ) 旭川市 イオンモール出店に際し周辺商店への影響と駐車場対策・市役所新庁舎建設計画までに至る経過について

## 3 調査地選定理由

### (1) 農林水産省研修（国の担当者から国の施策についての説明） 詳細別紙 1

- ・コメの生産調整廃止に伴う今後の方向
- ・農家の減少に歯止めはかけられるか
- ・新規就農対策
- ・日本型直接支払制度について
- ・食料自給率の減少に伴う今後の対策
- ・農業再生のための政策は
- ・松くい虫対策
- ・果樹農家に対する今後の支援等
- ・農林業の6次産業化について

### (2) 恵庭市 「えこりん村」 詳細別紙 2

当村は食産業を通して食材や営業資材の調達するなどして、一次産業の現場での生物多様性の保全を目指している。食料は単なる食だけでなくその全ての活動が生き物の働きによって支えられているので、生物多様性を復元・保全することは私達の「食」を守ることであり、我々の最低限の責任であるという考え方のもと、安全な食を追い求める過程で化学物質を排した生産地としての推奨を行っている。

### (3) 富良野市「子育てママと農家を繋ぐ取組みについて」 詳細別紙 3

農業労働力の高齢化や農作業ヘルパーの確保が年々難しい状況になっていることから、将来的に農作業の担い手として期待できる農作業経験の少ない子育てママを就労に導きその後の定着をはかることを目的としている。

### (3) 旭川市「イオンモール旭川駅前」出店にともなう市の対応について及び「市役所新庁舎整備に向けた取組みについて」 詳細別紙 4

・2015年3月27日当市に出店された当イオンモールは、JR旭川駅周辺地区で旭川市が中心となり計画を推進する「北彩都あさひかわ」の進捗に合わせて建設中の駅直結複合ビルの低階層に出店するショッピングモールであり周辺の影響と駐車場対策等の取組みについて視察した。

・市役所新庁舎視察した整備に向けた取組みについて、場所の選定と市民の意見の聴取について説明を受けた

#### 4 調査結果

実施日 平成29年6月26日～平成29年6月29日

出席者 6名 宮坂郁生・柿沢潔・上條俊道・村上幸雄・中島昌子・井口司朗

(詳細調査内容 別紙)

#### 5 政務調査費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額

・旅費等 713,170 円 = (交通費 12,850) 5人 + (交通費 17,290) 1人 + (宿泊費 44,400、日当 12,000、航空運賃 23,190) 6人 + 航空運賃 (25,500) 5人 + 航空運賃 (26,590) 1人

・土産 14,256 円